

UNEP 資源パネルの状況

地球規模での経済活動の拡大に伴い、天然資源の持続可能な利用の確保が国際社会の大きな課題となっていることから、UNEPが、2007年11月、世界的に著名な科学者及び専門家からなる「持続可能な資源管理に関する国際パネル(International Panel for Sustainable Resource Management)を設立。

(1) パネルの任務

天然資源の利用並びに環境影響等に関する最新の情報収集・知識基盤の構築
選定された資源 / 製品の環境影響の科学的評価の提供、影響低減のための方法に関する理解の増進
途上国、経済移行国における知識・データ・能力のギャップの特定、能力向上支援、国際的知識交流の支援

(2) パネルのメンバー

- ・ 資源管理や物質フロー等の関連分野の著名な科学者及び専門家約 20 名(今後追加がありうる)。
- ・ 我が国からは森口祐一国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究センター長が参画。

(2) パネルの作業計画

- ・ 金属資源の地球規模でのフロー、バイオ燃料の環境面や供給面での持続可能性等に関する科学的評価、淡水資源に関する科学的評価、途上国等の能力開発等のテーマについて、パネルメンバーが分担して具体的作業計画を策定する予定。

(注)平成20年度環境省予算要求において、これらの取組を支援するための予算を要求中。